

小学校第6学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから19ページまであります。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒えん筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。
- 6 解答時間は、40分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

問題は、次のページから始まります。

新聞委員の中田さんたちは、新しく来られた先生方をしようかいするために、インタビューをすることになりました。次は、中田さんが高山先生にインタビューをした記録の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【インタビューの記録の一部】

中田さん

先生、こんにちは。インタビューを引き受けていただきありがとうございます。います。それでは、よろしくお願ひします。先生は、スポーツが大好きだと聞いています。そこで、まずスポーツに関する質問からお聞きします。

高山先生

いいですよ。何でも聞いてください。

中田さん

先生の得意なスポーツは何ですか。また、いつから始めましたか。

高山先生

得意なスポーツは、野球、水泳です。特に野球が得意で、小学校四年生から始めました。高校三年生のときに、全国高等学校野球選手権大会に出場して、甲子園こうしえんに行ったんですよ。あのとときの感動は忘れられないなあ。

中田さん

次の質問です。先生は、どのようなときにスポーツの楽しさを感じますか。

高山先生

体を動かし、あせをいっばいかいて、すがすがしい気持ちになるときですね。

中田さん

スポーツを通して、どんなことを学んでこられましたか。

高山先生

より高い目標に向かってあきらめないで努力すること、そして、チーム

ワークの大切さですね。また、ルールを守ることの大切さも学びましたよ。

中田さん

先生が子どもたちからスポーツを楽しむ、いろいろなことを学んでこられたことが分かりました。それでは、スポーツ以外のお話をうかがいたいと思います。

〽 (インタビューが続く) 〽

2

小川さんの学級では、読んだ本のしようかいをすることになりました。小川さんは、五年生のときに読んだ「大造じいさんとガン」の作者である椋鳩十の「母グマ子グマ」を読んでいます。二つの作品をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【「大造じいさんとガン」の第1場面の一部】

（椋鳩十「大造じいさんとガン」による）

（椋鳩十「大造じいさんとガン」による）

【「母グマ子グマ」の第1場面】

（椋鳩十「母グマ子グマ」による）

(椋鳩士「母ラマ子ケマ」によつて)

（椋鳩十「母グマ子グマ」による）

※イタドリ：春の野山に生えている植物。新芽は採取して食用にすることができる。

（椋鳩十「母グマ子グマ」による）

一 小川さんは、二つの作品の第1場面のAのところでしょうかいしている登場人物について、次のメモにまとめました。

ア

イ

文中の言葉を使って書きましよう。

の中に入る登場人物の特徴^{ちよう}について、本

【メモの一部】

(※解答は、解答用紙に書きましよう。)

<p>「大造じいさんとガン」の登場人物</p>	<p>「母グマ子グマ」の登場人物</p>
<p>○残雪は、毎年ぬま地にやってくる。</p> <p>○残雪は、一羽のガンにつけられた名前である。</p> <p>○残雪は、</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center;">ア</div> <p>○残雪は、かりゅうどからのよび名である。</p> <p>○残雪は、ガンの頭領らしい。</p> <p>○残雪は、なかなかりこうである。</p>	<p>○おかあさんグマは、日本アルプスのふもとに住んでいる。</p> <p>○おかあさんグマは、右のかたがはげ、左の耳がさけている。</p> <p>○おかあさんグマは、いく度も、あやういめからのがれた。</p> <p>○おかあさんグマは、</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center;">イ</div>

二 小川さんは、「母グマ子グマ」の第1場面で、クマたちが穴の中ですごしたり、穴の入り口から顔をだしたりしているところから、春がおとずれたことが分かる部分を次のメモにまとめました。

ウ の中に入るふさわしい言葉を、本文中の言葉を使い、「〜こと」で終わるようにして書きましょう。

【メモの一部】

(※解答は、解答用紙に書きましょう。)

◆クマたちがあなの中で
すごしているとき

○春の雪どけのなだれの音が聞こえてきたこと

○春のにおいが、おねの中いっぱい流れこんできたこと

◆おかあさんグマがあな
の入り口から顔をだし
ているとき

○金色のあたたかい太陽が、山いっぱいにふりそそいでいること

○
ウ

三 小川さんは、おかあさんグマの気持ちがよく表れているところとして、本文中の
の部分を例に挙げてしようかいたします。その中で、——部の「わるいことに」
には、おかあさんグマのどのような気持ちが表れていると考えられますか。次のメモをもと
にし、あとの条件に合わせて書きましょう。

【メモの一部】

◆一ぴきや二ひきではない犬のおいがしてきた。

←

◆イタドリの芽がつくつくどでている。

←

◆イタドリの芽は、クマのごちそうである。

わるいことに

↑

おかあさんグマの気持ち

【条件】

- 「犬」と「イタドリの芽」の二つの言葉を入れて書くこと
- 四十字以上八十字以内にまとめて書くこと

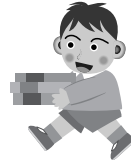
問題は、次のページに続きます。

梅山市内の小学生のみなさんへ

図書館だより★5・6月号

梅山市立図書館

梅山市立図書館は、みなさんが利用しやすいようにくふうしています。どんどん利用してください。



■図書館が開いている曜日・時間

- ◇火曜日から金曜日
午前9時から午後8時まで
- ◇土曜日・日曜日
午前9時から午後5時まで
※休みは、毎週月曜日

■本の貸し出しについて

- ◇一人5冊^{さつ}までとし、2週間以内^{うけつけ}に受付へ返してください。

■読書相談日

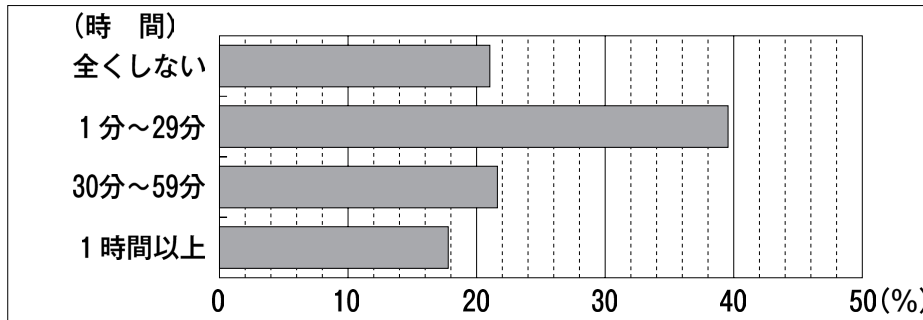
- 1・2年生→火曜日
- 3・4年生→水曜日
- 5・6年生→金曜日
- ※図書館員が、決められた曜日の開館時間内に相談にのります。

■本を探^{さが}すとき

- ◇コンピュータを使うことができます。使い方が分からないときは、係の人に聞いてください。

◆読書情報◆あなたは、どのくらいの時間、本を読んでいますか？

「家や図書館での一日の読書時間」(平成19年4月調査)



(全国の6年生約110万人を対象にした。土曜日・日曜日^{のそ}を除く。マンガや雑誌は^しふくまない。)

★5月・6月の図書館行事★



【人形劇^{げき}】

- ・「スーホの白い馬」
- ・5月29日(木)
- ・15:30~16:00

どなたでも
参加できます



【読み聞かせ】

- ・「からすたろう」
- ・6月15日(日)
- ・14:30~15:00

図書委員の木村さんたちは、学校のみならず自分たちの町の図書館をもっと利用するようになれば良いと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

一 六年生の木村さんは、調べ学習に役立つ本の選び方について図書館員に相談することになりました。木村さんは、何曜日の、何時から何時までの間に相談することができかを、次のメモに取りました。「図書館だより」の内容に合うように、ア・イの中に入るふさわしい言葉や数字を書きましよう。

【メモ】

ア

曜日の午前九時から

イ

時までの間に相談することができる。

二 木村さんたち図書委員は、「図書館だより」を読んで、「家や図書館での一日の読書時間」について話し合いました。次は、そのときの記録の一部です。あなたなら、ウのところでどのような内容を発表しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【話し合いの記録の一部】

司会

「図書館だより」をもとに、「わたしたち六年生の読書時間を増やすこと」をテーマとして話し合います。「図書館だより」の中のグラフから分かったことと、それをもとにして考えたことを発表してください。

木村さん

家や図書館で一日に一時間以上読書をする六年生は、約十八%もいることが分かりました。わたしは、それほど読書をしていないので、時間を計画的に使って、もっと本を読もうと考えました。

あなたの発表

ウ

〽 (話し合いが続く) 〽

三 木村さんたち図書委員は、この図書館で行われる行事を学校の人みんなに広く知らせるために、次のような案内状に書きかえて配ることにしました。あとの問いに答えましょう。

【案内状】

平成20年5月9日

学校のみなさんへ

図書委員一同

【 工 】の案内

新しい学年になり、約1か月たちま



したが、もうすっかり慣れましたか。

さて、わたしたちの町にある梅山市立図書館では、5月と6月に次のような行事があります。

楽しい行事ですので、ぜひ参加してください。

〈行事の内容〉

◆5月29日(木)、午後3時30分から午後4時まで、人形劇が行われます。作品は、「スーホの白い馬」です。

オ

※だれでも参加できます。

家族や友達をさそってみてください。



- (1) 案内状の題名として、ふさわしい言葉を【工】の中に書きましよう。
- (2) 行事の内容の二つめとして、ふさわしい内容を【オ】の中に二つの文で書きましよう。

問題は、次のページに続きます。

水谷さんの学級では、学校生活をよりよくするために、身近な題材を取り上げて意見を書くことになりました。そこで、校内でのけがをなくすことについて書いた二人の意見文を取り上げて、文章全体の組み立てについて学習しました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

※段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

中村さんの意見文

けがのない学校にしよう

中村かおり

- ① 新しい学年になって、校内のいろいろな場所でけがが起きている。なぜ、けがが起きているのかについて、くわしく調べてみることにした。
- ② 今年の三月に校内で起きたけがの集計結果を保健室の資料で調べてみると、けがの種類として、打ぼくやねんざが一番多かった。けがが起きる場所は、ろうかの曲がり角、教室からろうかに出る所、運動場の順で多くなっていた。けがの原因を調べると、先を急いでいるときやふざけているときに転んだり、ぶつかったりしている場合がほとんどであった。
- ③ 集団生活の場である学校では、おたがいが気をつけなければ、けがが起きてしまう。一人一人が落ち着いて行動し、ふざけすぎないことが大切だ。そのためには、校内放送やポスターなどで落ち着いた行動をよびかけたり、おたがいに注意し合ったりすればよいと思う。みんなで協力してけがのない学校にしていきたい。

校内でのけがをなくすために

山下ひろし

- ① ぼくは、校内でのけがをなくすために、使った道具をいつも元のとおりにきちんとかたづけておくことが大切だと思う。
- ② 先週、そうじのあと、ろうかの曲がり角に置かれたままになっていたバケツにぶつかって転んでしまい、ひざに大きなあざをつくってしまった。使ったバケツがきちんとかたづけてあれば、けがをしなくてすんだと思う。友達の中には、体育の学習で使うハードルの高さを調節するねじがきちんと止められていなかったために、運ぶとき指をばさんでしまった人もいる。
- ③ みんなが生活する学校では、いろいろな道具がある。それらがあぶない状態のままになっていると、けがが起きてしまうことがある。使ったものはきちんとは始末をして、安全な状態にしておくことが大切である。そのためには、係や委員会の活動の一つとして、使った道具がきちんとかたづけられているかを点検するような取り組みを行うとよいと思う。みんなの学校を安全な場所にしていきたい。

(問い) 次に示す二人の意見文の「文章全体の組み立て表」を完成させます。二人の意見文の組み立てとして、**ア** から **カ** までに入るふさわしいものをあとの**1**から**4**までの中からそれぞれ選んで、その番号を書きましょう。番号は、二回以上使ってもかまいません。

【文章全体の組み立て表】

<p>③</p> <p>ウ</p>	<p>②</p> <p>イ</p>	<p>①</p> <p>ア</p>	<p>中村さんの意見文の組み立て</p>
<p>③</p> <p>カ</p>	<p>②</p> <p>才</p>	<p>①</p> <p>工</p>	<p>山下さんの意見文の組み立て</p>

- 1 調査した資料をもとにした事実
- 2 自分の意見や提案
- 3 考えたいことや調べようとする課題
- 4 体験をもとにした事実

これで、国語Bの問題は終わりです。

平成20年度 全国学力・学習状況調査

平成20年4月 文部科学省